

九州歴史発見記

2024年7月23日
田中学園立命館
慶祥小学校
5年1組
岡崎 心音

復興のシンボルとして

歴史と美しさを持つ熊本城。熊本城は日本の熊本県熊本市にあるお城で、日本の三大名城のひとつです。このお城は戦国時代に加藤清正（かとうきよまさ）という大名によってきずかれました。熊本城の特徴としては、がんじょうな作りで有名です。お城の壁は「石垣（いしがき）」と呼ばれる大きな石でできており、敵が登ってくるのを防ぐために設計されています。また、「武者返し（むしやがえし）」と呼ばれる特別な角度で作られた石垣は、敵が登りにくくする工夫がされています。熊本地震と復興について。2016年に熊本地震が発生し、熊本城も大きな被害を受けました。多くの建物が壊れましたが、今では復興が進み、多くの部分が修復されています。復興のために多くの人が協力し、熊本城を元通りの姿に戻そうと頑張っています。熊本城を訪れると、日本の歴史や建築の素晴らしさを感じることができます。また、復興の過程を見ることで多くの人の努力や情熱を知ることができます。ぜひ熊本城を訪れてみてください。



本震後に残った1本の石垣で飯田丸五階櫓を支える様子。

九州国立博物館

九州国立博物館へ。縄文時代と海の関わり。縄文時代の展示では、3万5千年前から紀元前4世紀までの生活を知ることができました。当時の人々は大きな動物を狩ったり、木の実を集めて暮らしていました。海は豊かな漁場で、たくさんの魚を捕っていたそうです。稲作と国づくり。弥生時代から古墳時代の展示。

福岡県 太宰府天満宮仮神殿
受験生の聖地、美しい自然と平安時代の遺産「太宰府天満宮」。太宰府天満宮は、古くから学問の神様として信仰され、多くの受験生や学生が訪れます。平安時代に菅原道真（すがわらのみちざね）が流罪になった後、彼の功績を称えてこの神社が建てられました。現在は仮殿が建てられ、本殿の修復が行われる間に神様が移される場所です。仮殿の特徴。この写真は、式年大祭がある2027年までの期間限定で建てられた仮



現在の太宰府天満宮仮神殿の様子。

殿。仮殿のデザインと設計は建築家の藤本壮介（ふじもと そうすけ）さんが手掛け、斎場の御帳（みとばり）と几帳（きちょう）は、ユニクロの洋服デザインなども手掛ける「Be Kurogouchi（マメクロゴウチ）」さんがデザインを担当されたそう。仮殿はおしゃれで素敵な建物でした。歴史を学びながら、神様を大切にすることや感謝の気持ちを学び、参拝時にはご利益もあつたかわいなお守りを購入している方がたくさんいました。ぜひ太宰府天満宮を訪れて、その魅力を感じてください。

この時代には、大陸から米作りや金属器が九州に伝わり、農作業を通じて人々が協力するようになりました。古墳時代には大きな古墳が作られ、強い王様が現れました。遣唐使と新しい文化。奈良時代から平安時代の展示を見ました。この時代には、日本から唐の都

この新聞では九州の魅力を紹介しました。熊本城では復興の過程を見ることができ、多くの人の努力や情熱を知ることができ、太宰府天満宮では学問の神様で有名なので多くの受験生が訪れていました。九州国立博物

編集後記



水俣病資料館（熊本県）の外観の様子。

館は歴史と文化を展示する博物館です。また、水俣病資料館では公害問題の重要性を学び、吉野ヶ里遺跡では古代の暮らしに触れました。そして太宰府天満宮に訪れたときには、梅枝餅の味をぜひお楽しみいただきたいです。おすすめは、焼きたてをすぐにその場で食べてください。この新聞が歴史や文化を楽しむきっかけとなればうれしいです。

吉野ヶ里遺跡での学び



高い展望台のような物が物見櫓、手前にある家のような物が竪穴住居。

弥生時代の暮らしを学ぶ。吉野ヶ里遺跡でガイドさんに案内してもらい、弥生時代の家を見学しました。中央の広場を取り囲むように

たくさん住居が建てられ、この家はさまざまな役割をこなす支那層の人々の住まいだったと考えられています。「竪穴住居」と

呼ばれ、地面に穴を掘って作られていました。家の中に入ってみると、地下なので窓はなく、人の人形が座っていました。人々がどのように生活していたかを感じることができました。南内郭には4棟の高床式の建物「物見櫓」がありました。ここに上がり、兵士が南内郭への侵入者を厳重に見張っていたと考えられています。それから吉野ヶ里遺跡内に展示されている弥生時代の道具や生活用品を見ました。石器でできたスクレイパーがあり、調べると現在のヘラでした。どの道具も工夫されていて、当時の人々の知恵に感心しました。記憶に残る忘れられない場所になりました。

太宰府天満宮の梅枝餅

太宰府天満宮で有名な梅枝餅。もちもちのお餅の中に甘いあんこが入っています。太宰府天満宮では、なぜ梅枝餅が有名か？それは、学問の神様として知られる菅原道真公が、梅の花を愛していたことに由来しています。参道にはたくさんのお店があり、どのお店でも梅枝餅を購入できます。参拝後に食べると、特別な気分になりました。太宰府天満宮を訪れた際には、ぜひ梅枝餅を味わってみてください。美味しい思い出ができること間違いなしです。

水俣病資料館

資料館を訪れてみよう

「水俣病」とは、熊本県水俣市で起こった「病気」です。昔、工場から流れた汚

れた水が原因で、人々が病気になってしまいました。水俣病資料館は、この病気について知ることができる場所です。ここには、病気の原因や、そのときの人々の話が展示されています。資料館を見学すると、水俣病で苦しんだ方がよく分かります。また、どうしてこんなことが起きたのか、二度と同じことを繰り返さないためにはどうすればいいのかを学ぶことができます。この資料館は、みんなに環境を大切にする気持ちを持ってもらうために、とても大切な場所です。ぜひ一度訪れてみてほしい資料館のひとつです。わたしたちの未来のために、一緒に考えましょう。